

鯖高生の活動で地域を盛り上げよう！

～鯖江高校生による地域連携活動～

地域の活性化を目指して、私設図書館つぐみを運営する株式会社「固（かたまり）」様より鯖江高校生徒との連携をご提案いただき、鯖江高校生が運営する「サバコーカフェ」と、私設図書館つぐみの利用促進の企画・運営をしていく活動に取り組んできました。このたび3月30日（土）市民ホールつづじでサバコーカフェがプレオープンし、1階の私設図書館つぐみでは地域の子どもたちが楽しめるイベントを開催しました。

サバコーカフェ プレオープン！

サバコーカフェを運営するのは、探究科の新2年の生徒たちで、地元の人気店から

材料を仕入れ、それぞれを店の紹介しながら販売して、地域の商店街の活性化を考えました。また、カフェの運営をすることで、実体験を通して経営に関する探究活動を実践していくことも目的しており、この活動のために総務経理、販売調理、企画広報などの部署を作って役割を分担し、食品衛生責任者の資格を取得したり営業申請を行ったりするなど、クラス全体で本格的な活動を行ってきました。

このイベントではコーヒーなどの飲み物の販売だけではなく、探究科の生徒の研究内容の発表や、ITコースやデザインコースの生徒の作品なども展示して、多くの来訪者たちが生徒たちと一緒にイベントを楽しみました。



図書館でわくわく体験！

私設図書館つぐみでの活動は、希望した生徒たちのグループによ

って行われました。「誰かと繋がれるみんなの図書館『私設図書館つぐみ』」をテーマに、本を通して地域やオーナーとの交流を深めていくことを目的として、図書館に親しみを持ってもらえるような様々なアイデアを考えてきました。そして今回は「わくわく本のだいぼうけん」というタイトルで、図書館の中を楽しく巡ることができるイベントを実施しました。まず、入り口に設置したガチャをつかって、出てきたカプセル内のミッションに従って、本棚に隠れているものを探し回りながらミッションを達成させるもので、子どもたちは楽しみながら図書館を隅々まで見て回り、いつの間にかどのような本が所蔵されているのか知ることができるようになっています。小さな子供だけでなく大人も楽しむことができ、来場された佐々木市長も一緒にわくわく体験を楽しまれました。また図書館を出たところでは折り紙コーナーを設置し、高校生に折り紙を教わったりして楽しく交流をすることができました。



今後は、鯖江のまちを巡るイベント「さばぷら」に合わせて定期開催する予定です。